



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

Coping resources of high school students:
Relationship with high support needs from the
perspective of Yogo teacher.

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-07-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 日下, 虎太郎, 橋本, 創一, 三浦, 巧也, 渡邊, 真帆, 竹達, 健顕, 工藤, 浩二 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/00173407

高校生の「コーピング資源」についての検討

—— 養護教諭の視点からの支援ニーズの高さとの関連 ——

日下 虎太郎*・橋本 創一**・三浦 巧也***・

渡邊 真帆****・竹達 健顕****・工藤 浩二*****

高校生の問題行動・学校不適応は依然として深刻な状況にある。このような問題に対して、個人の持つ「資源」に注目して支援することの有効性が指摘されている。「資源」とは、個人の内外にあって問題に対処するのに役立つ力である。

本研究の目的は、保健室を利用している二次的・三次的援助サービスの対象となる支援ニーズのある高校生にとって「重要な資源」を見出すとともに、「支援ニーズの高さ」と「重要な資源」との関連を明らかにすることであった。首都圏にある高等学校に勤務する養護教諭204名に質問紙調査を行った。これまで保健室に関わった生徒のうち、支援ニーズの高い生徒と中程度の生徒を一人ずつ挙げて、彼らの学校適応に重要だと考える資源をそれぞれについて自由記述で回答してもらった。得られた回答についてKJ法を援用した方法によってカテゴリー化したところ、20個のカテゴリーに分類された（「家族による支援」「外部の大人による支援」「友人による支援」「教師による支援」「居場所」「解決志向性」「粘り強さ」「楽観性」「自己肯定感」「自己受容」「他者受容」「希望」「趣味・特技」「学力」「柔軟な思考力」「言語的表現力」「援助希求力」「モニタリング力」「コーピングスキル」「基本的生活力」）。さらに“KH Coder”を用いて計量テキスト分析を行った。その結果、(1) 支援ニーズの高い生徒ほど「学校外の資源」や「基本的なスキル」、「自己肯定感」などの資源が重要であると捉えている養護教諭の割合が高いこと、(2) 支援ニーズが中等度の生徒は「学校内の資源」や「希望」「趣味・特技」「粘り強さ」「援助希求力」などの資源が重要であると捉えている養護教諭の割合が高いことが示唆された。

これらの結果を踏まえ、「資源の構造モデル仮説」を提案した。今後実際に資源を評価する尺度を作成し、精神的な健康状態や適応状態を測る尺度とともに高校生を対象とした調査を実施することで、この仮説の妥当性を詳しく検討していく必要がある。

Key words

コーピング資源, 高校生, ストレス対処, 学校不適応

*東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科

**東京学芸大学 特別支援教育・教育臨床サポートセンター

***東京農工大学

****東京学芸大学大学院 教育学研究科

*****東京学芸大学